

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 11 月 26 日（水）
地区 豊浜東小学校区
会場 豊浜東小学校 1 階特別活動室
参加者数 13 人



《質問・意見》

徘徊者が多く、広報等での情報提供の呼びかけは、民生委員としては非常にありがたい。もっと情報がほしいが、プライバシーや人権などの法的な問題もあり難しいと思う。他の地域の事例があれば、教えていただきたい。

《回答》【市長】

防災行政無線のラップにより、行方不明者の情報提供のお願いを行っています。認知症はどんどん増えてきて、全国的な課題になってきています。民生委員さんやボランティアの方々には非常にお世話になっていますが、誰かが守るのではなく、一人ひとりがアンテナを立てて直ぐにみんながサポートできるよう準備をしています。まず認知症とは何かを勉強するために認知症サポーター講座を開き、現在 8,000 人くらいの方々がサポーターとして登録いただいています。町のみんなで見守り、何かあれば通報し、助けに行く体制準備を進めているところです。ご家族が認知症となり危ないと思われた場合は、申し出があれば、靴やステッキなどに簡単なシールを貼ってもらい、行方不明になれば連絡が直ぐにつき、どこの誰かが直ぐにわかるような環境整備を進めています。

統計によると、認知症が発症し、受診するまでの期間は平均 9 か月とされています。その間に事故になると残念なことになりますので、認知症サポーター講座を受講していただき、認知症の予兆があれば薬などで抑えられるので、早めに通院を促せばと考えています。現在の市の高齢化率、65 歳以上は人口の 28% で、3.8 人に 1 人が 65 歳以上です。2030 年になると 2.8 人に 1 人が高齢者となります。そういう状況もあるので、認知症予防、介護予防もそうですが、高齢化が進む中で、いかに元気で長生きして暮らしていけるか、それは一人ひとりの努力、心がけにかかってきます。

日頃の運動は介護予防に良いとのデータが出ています。八日市場町の福祉健康センターで健康課が実施している健康づくりの講座でも、定期的に運動している高齢者としていない高齢者とでは 5 倍の差が出ています。ウォーキングや朝のテレビ体操などを定期的に行っているかどうかで、介護をするか、されるかの差は 5 倍です。このあたりもぜひ参考にいただければと思います。

《質問・意見》

少子化と小中学校の統廃合、それと将来のまちづくりの関係について、まず統廃合の理由は生きる力を付けるため、適正な人数を確保するためとのことだった。適正な人数にするためには統廃合以外にも手段があったのではないかと教育委員会に聞いたが答えは出なかった。そしていきなり統廃合となった。統廃合すれば学校の数が減り、地域から学校が遠くなる。そうすると地域の人口も減ると思う。統廃合により人口減少は加速すると思う。それを考慮した数字なのか。人口減少を加速させないためには、新しい学校の周りにまちをつくらなければならない。光の街のように人を呼べるような環境をつくらないといけない。そういったことをされているか。

《回答》【市長】

小中学校の再編については、児童生徒数が団塊の世代の頃に比べて、現在は半分となっています。このまま推移すると20年後には3分の1となる状況です。少子化・高齢化、人口減少への対応をどのようにしていくかということで、5年前から人口構造、少子化・高齢化を具体的にイメージして、それに対応したまちづくりを進めています。例えば高齢化に対しては、病院をもう一度きちんと確保していくということです。また、子どもの数が減少する中で、中心市街地でも来年度の新入学児童が20人を切る学校がたくさん出てきています。このまま放っておけば2、3年以内には複式学級もままならないといった状況もあり、子どもたちの適正な学級活動が望めなくなります。

地域の学校が無くなったことにより、地域の不便さが増して、子どもの数が減る可能性も否めません。そうしたことはこの推計には含まれていません。学校の減少と地域の変化まではまだ読み込めていませんが、新しく学校を造る地域と、学校が無くなる地域との地域経営をどうするかは大きな課題です。そういったことをこれから皆さんと議論していきたい。場所によっては農地に係る法律の問題もあり、どこまで開発できるのか難しいところもありますが、伊勢市の都市計画は、拠点拠点を強くしていくことが大事であるとの考え方で進めています。その中で学校を再編し、通学のためにスクールバスを整備して進めていきたいと考えています。

少子化対策は簡単にはいかない状況があります。今、日本の合計特殊出生率は1.4くらいですが、国は20年くらい前から子どもを産み育てやすいしくみをつくろうと、エンジェルプランとしてやってきましたが、上手く行っていません。それで、今、子ども子育て支援新制度を進めています。国だけでは足りないので市もしっかりやっとうとしていきます。ただ、単に学校や幼稚園の費用を無料にすれば成功するというだけでなく、それ以上に働く場所づくりや地域でどのように子どもを見守っていくかなど、トータルで考えていきたい。

《質問・意見》

市内で人数を増やすのが無理であれば、よそから入れる考えを持たないといけない。そのためには、魅力のあるまちをつくっていただいて人数を増やすしかない。魅力あるまちづくりをお願いしたい。

《回答》【市長】

わかりました。

《質問・意見》

この地域は宮川と外城田川に挟まれている。外城田川の堤防の高さと宮川の堤防の高さが違う。一級河川になれば国からお金がもらえるので整備ができると思うが、今の状態では市や県も予算が無く、どうしようもないだろう。外城田川の堤防は空洞になっていると思うので、早く補修してもらいたい。新しく造り直してもらいたい時期かとも思う。そのために市のサポートもお願いしたい。

《回答》【市長】

わかりました。

《質問・意見》

国道 23 号の下流域に土砂が堆積し中洲ができており、木々も生えている。台風が来れば水の流れが悪くなり、堤防が切れる恐れがある。除去について国に働きかけをしてほしい。

《回答》【市長】

要望を取りまとめてもらえれば、市も一緒に行かせていただきます。

《意見》

宮川河口の漁業は、土砂の堆積で浅くなりアサリが成育しない。アサリが採れば、地域が活性化する。砂利を取ってほしい。

《質問・意見》

確かに外城田川の堤防の高さは宮川よりも 1 メートルくらい低い。決壊する恐れがある。建設から半世紀経ち、空洞だらけだと思う。外城田川の堤防の改修については、去年も要望したが、進捗があるのかどうか、また今後何かの対策を考えていただけるのか。そのあたりを自治会にも教えてほしい。

《回答》【市長】

要望は継続してやっています。状況は追って連絡させていただきます。

《質問・意見》

東豊浜の避難タワーはどこへ建てるのか。

《回答》【市長】

場所はまだ決まっていません。できるだけ早く取り組みたいので、場所の選定や作り込みの細部についての話し合いの場を設けさせていただきます。

《質問・意見》

市長から色々なまちづくりのことを聞かせていただき、色々な思いがある。一つは地域の絆を強め、人づくりをしていかないと前には進めないと思う。その際には子どもたちを巻き込んでやっていくことが必要だと考えており、小中学校の校長に協力をお願いした。自分たちのまちづくり協議会では、挨拶運動をやろうということでマグネットステッカーを1,000枚作った。とりあえず、小中学校の保護者に貼付を依頼する。この取組により、子どもたちも大人が頑張っているんだと思う。

それから、自分の地区での懇談会の際、パソコン教室開催に対する協力・支援をお願いしたところ、直ぐに対応いただいた。

もう一つは、人が働けて生活できて良かったと思うまちにしていかないと人は寄って来ないということから、働く場所が必要かと思う。自分の住んでいる地区は農村地帯だから多分長男は農業に就き、次男、三男は外へ出て定年まで戻って来ない。その人たちが戻って来るようにするためには、まち全体が心の豊かなまち、絆の深い町、住んで楽しいまちにしないといけない。そういうことを心掛けていきたい。

人口減少については、何かの形で人口が増える方策を行政と市民、お互いが頭を使いながら、キャッチボールしながら、勉強していかなければいけないと思っている。特効薬は無い。多分漢方薬のような感じで息の長い仕事になると思う。結婚適齢期の女性が結婚されない。そういうことでどんどん人口が減っていく。そこを何とか変えていかないとダメだと思っている。合コンパーティーをやるとか、いろんなアイデアを出しながらやっていかなければならないと思う。

《回答》【市長】

ありがとうございます。色々な課題を知らせていただきました。地域一体となって進めていく際には、我々も県や国への交渉に主体的に関わっていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。